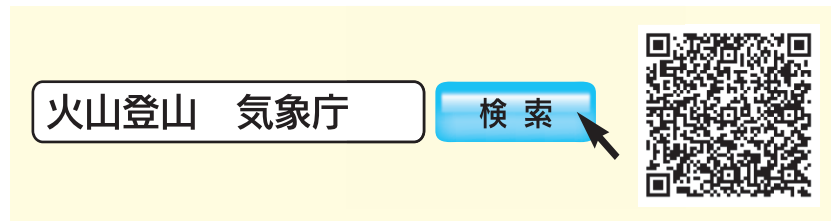


ここでは、火山に登る時の正しい情報取得の方法と登山届の提出方法を紹介しています。火山に登る前にぜひ確認してください。

## 火山の情報を集める

まず、あなたが登る山が活火山かどうか把握し、火山に登るならば、火山に対する正しい知識を持つことがとても大切です。

必要な情報は、気象庁の火山登山者向けの情報提供ページから入手できます。  
([https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/activity\\_info/index.html](https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/activity_info/index.html))



また、気象庁のトップページから右のバナーをクリックすると火山登山者向けの情報提供ページに移動できます。



気象庁の火山登山者向けページから、2つの情報をチェックしてください。

- ①火山活動に関する情報
- ②火山防災マップ

### 火山防災マップ

- 火山防災マップを見ることで、各火山のレベルごとに起こり得る噴火現象や、どの範囲にどんな火山現象が起こるのを知ることができます。
- 噴火時に避難可能な場所が書かれているマップもあります。



火山活動に関する情報を収集すること、登山届の提出を含めて連絡手段を確認することなど、“自らの身を守る備えをすること”は、登山を楽しむ者としてのマナーです。

## 情報を正しく理解する

### 噴火警戒レベル

噴火警戒レベルは、火山活動の状況に応じて、「警戒が必要な範囲」と防災機関や住民等の「とるべき防災対応」を、「避難」「高齢者等避難」「入山規制」「火口周辺規制」「活火山であることに留意」のキーワードをつけて5段階に区分した指標で、噴火警報に付け加えて気象庁から発表されます。

火山に登る前には、その火山の噴火警戒レベルを確認しておきましょう。  
噴火警戒レベルは、火山ごとに引上げと引下げの基準があらかじめ定められて公表されます。日頃からこの基準を確認し、火山活動がどの程度活発化すると、噴火警戒レベルが引き上げられるか、調べておくといでしょう。

警報・予報	対象範囲	レベルとキーワード	
噴火警報(居住地域) 又は「噴火警報」	居住地域 及びそれより火口側	5	避難
		4	高齢者等避難
噴火警報(火口周辺) 又は「火口周辺警報」	火口から 居住地域近くまで	3	入山規制
	火口周辺	2	火口周辺規制
噴火予報	火口内等	1	活火山であることに留意

### 火山の状況に関する解説情報(臨時)

噴火警戒レベルの引上げの基準に至らない火山活動の変化を観測した場合、火山活動のリスクの高まりを地元の関係者や一般の人々に認識してもらうために、気象庁から「臨時」と明記した「火山の状況に関する解説情報(臨時の解説情報)」が発表されます。  
火山に登る前には、気象庁ホームページなどで、その火山に臨時の解説情報が発表されているかを確認しておきましょう。  
臨時の解説情報が発表されている場合には、火山活動が活発化している可能性がありますので、地元市町村が行う入山規制等の情報を確認し、気象庁から発表される情報に注意しておくことが必要です。

### 噴火速報

噴火速報は、噴火の発生事実を迅速に伝える情報で、登山者や住民に、火山が噴火したことを端的にいち早く伝え、身を守る行動を取っていただくために気象庁から発表されます。  
噴火速報が発表された時は、直ちに身の安全を図る必要があります。迷っている時間はありません。  
噴火速報は、登山中でも、ラジオや携帯端末などで知ることができます。  
※噴火速報は気象庁が常時観測している各火山を対象に発表されますが、普段から噴火している火山において普段と同じ規模の噴火が発生した場合や、噴火の規模が小さく噴火が発生した事実をすぐに確認できない場合には発表されません。



## 〈登る前の最終確認〉登山届の作成・提出

### 「登山届」は登山での初めの一歩です

登山届を作成・提出し、家族や友人と共有しましょう。

登山は自然と対峙するアクティビティです。気象変化や噴火による災害、体調の急変や突発的な事故など、さまざまなリスクが伴います。そのため、自身の体力や技量にあわせた登山ルートの確認や相応の装備が求められます。登山届とは、山や自然を安心安全に楽しむことの計画を立て、提出することで緊急時の備えとするものです。



山登りでは下山するまでが登山です。  
登りで体力を消耗してしまい、筋疲労などを要因とする歩行時間の遅延や下山時の歩行困難、転倒、滑落などの事故・遭難が多発しています。  
無理のない計画で山や自然を楽しみましょう



コンパス「Webサイト」や「EXアプリ」から全国山域の登山届が提出できます



- Webやアプリ画面から登山届を作成できます。
- 提出した登山届は家族や友人を緊急連絡者として共有することが出来ます。
- 下山予定時刻が大幅に過ぎ、下山通知がなされていないときは、緊急連絡者へ下山未確認のメールが送信されます。
- 全国ほとんどの自治体、警察と協定を結んでおり緊急時に登山届を共有します。
- EXアプリでは登山中の地図表示と現在位置、登山ルートの勾配強度、気象情報などが確認できます。



Webページ



EXアプリ



登山中SOS

コンパス登山届システムは、山岳安全対策ネットワーク協議会が運用しています  
緊急時には警察や自治体と連携し、事故遭難者の救助・捜索に役立てられます

### 山岳安全対策ネットワーク協議会

